

## 【NEWS RELEASE】

2022年4月28日

各位

株式会社三井住友銀行

イオンタウン株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、イオンタウン株式会社（代表取締役社長：加藤久誠）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例等を還元させていただく融資商品です。

今回のイオンタウン株式会社に対する評価結果は、「気候変動への取組」「ローカル・コミュニティへの配慮」「従業員への配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 気候変動への対応として、2025年度までにCO2排出量総量40%削減（2021年度比）等の数値目標を設定し、全店舗共用部照明のLED化や社有車のEV化、新店舗での再エネ導入、PPAの推進等の取組を進めている
- ② 地域行政と連携し、地方創生や防災に資する店舗づくり・まちづくりを推進するとともに、各店舗における認知症サポーターの養成や多世代交流施設の運営等、地域の課題解決に資する取組を行っている
- ③ ダイバーシティ推進委員会を設置し、テレワーク推進等、多様な働き方の促進や企業内保育所の設置、男性管理職の意識改革を進めるほか、女性活躍推進に向けて人事制度の整備やキャリア形成支援を行っている

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「目標11：住み続けられるまちづくりを」「目標13：気候変動に具体的な対策を」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。

<ご参考>

**※1 ESGとは**

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

**※2 SDGsとは**

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。